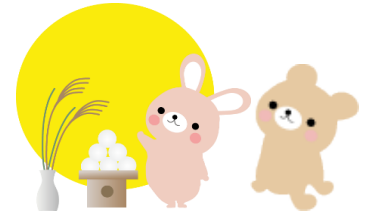


第20回 ウィリアムズ症候群集団外来

開催日 令和5年10月6日(金) 13時30分～16時00分
場所 埼玉県立小児医療センター6階 講堂(オンライン同時開催)
家族 16家族(埼玉県内 13家族、県外 3家族) お子さんの年齢: 2歳～19歳
内容 【第1部】研修会「作業療法の視点によるお子さんの発達特性とその支援」
保健発達部 下田 佳代子作業療法士
【第2部】家族交流会



第1部 研修会

🌸下田作業療法士より「作業療法の視点によるお子さんの発達特性とその支援」というテーマでお話しいただきました。

第2部 家族交流会

🌸参加者の自己紹介

「お子さんの良いところ・自慢」を含めてお話いただき、お子さんのとっておきのお写真も共有していただきました。また、お子さん本人よりご挨拶いただきました。

🌸グループ交流会

ご家族同士で3グループに分かれて自由に交流いただき、最後に集合写真を撮りました。

<研修会の様子>



<アンケートでは以下のようなコメントをいただきました>

🌸研修会について

これまでも情報収集してはいたが、見本を見せる、空間認知の不得手を他の情報で手掛かりにする、周囲の情報を減らし、活動前に粗大運動を取り入れて落ち着かせるなど、改めて具体例交えてご説明いただき参考になった。お話をききながら、当てはまった特徴、そうでなかった点など振り返っていた。特性に対して具体的な対応策の解説があると嬉しい、など

🌸集団外来に関して

共感してもらえることが多く、他ではできないようなお話ができた。年齢が上のお子様の様子を見られるのも将来の姿を見られるようで(もちろん個人差はあると思いますが)励みになる。年齢の近いご家族から、少し年上のお子さんご家族まで色んな交流ができて良かった。集団外来の会場に行く前にこどもラウンジで他のお子さんと一緒にあったが、すぐに子ども達が和気あいあいとなり、とてもハッピーな気分になった。参加した子供達がまだまだ小さい子ばかりで現状のうちの子と年齢が離れていた、など

<ご参加いただいたご家族の皆さま、ありがとうございました。>